

「やりたいことなんて、簡単に見つからない」就活生へ 人気女優・岡本夏美が出演する就活生応援Web動画が公開！



戸田建設株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：今井雅則、以下、戸田建設）は、本日2月19日に人気女優の岡本夏美が出演する2020年の新卒向けのWeb動画「Building Symphony（建築篇）」を公開いたしました。本動画は、就職活動がうまくいかずに悩む大学生に扮する岡本が説明会の帰り道にたまたま建設現場を通りがかると、そこから聞こえてきた作業音がまるで自分を応援する音楽のように感じ、さらにそこで懸命に働く人たちの姿を目にすることで、新しい勇気をもらうという内容になっています。

■ 「Building Symphony（建築篇）」動画URL

<https://youtu.be/vfAEjWXATdw>

■ 特設サイトURL

<https://www.toda.co.jp/symphony/>

■ 「Building Symphony（建築篇）」公開日時

2019年2月19日（火）13時

■ Web動画「Building Symphony（建築編）」概要



「やりたいことなんて、簡単に見つからないよ」と説明会帰りに、思わずため息をつく主人公。まわりの就活生に比べて、疲弊した様子が分かる。そんななか、たまたま通りがかった工事現場でオーケストラの音色が耳に入る。気のせいかと思って工事現場を覗くと、工事現場で扱われている様々な重機や機具の音が重なり、音楽のように聞こえ、さらに現場監督がオーケストラの指揮者と重なって見える。大変そうな作業のなかでも、楽しそうに、充実したような表情で作業をする作業員と、現場を指揮する戸田建設の社員。この仕事は、「喜びをつくる仕事だ」彼らを見ているうちに励まされ、主人公の表情にも変化が……。

■ 動画使用内のオーケストラ音楽



音楽はSONYの「Water Rock」や、飛行機にまつわる音だけでSTAR WARSのテーマ曲を作ったANAの「STAR WARS DAY」などを手がける音楽監督の清川進也氏が担当。実際に、建設作業中の都内の戸田建設工事現場にてドリルでの掘削音や鉄パイプのカット音などを収録し、その音から今回のWeb動画「Building Symphony（建築編）」でメインとなってくるオーケストラ音楽「アイーダ」と「スケーターズ・ワルツ」の制作を行いました。

岡本夏美プロフィール



■岡本夏美（オカモトナツミ）

1998年7月1日、神奈川県出身。2011年雑誌「ラブベリー」モデルオーディションでグランプリにて芸能界デビュー。昨年12月には約3年半務めた雑誌「Seventeen」専属モデルを卒業。2019年1月より雑誌「non-no」専属モデルになる。モデルとして活躍する一方、ドラマ、映画、舞台、CMに幅広く活躍している。2019年はドラマ『さくらの親子丼2』（CX系）、『女川いのちの坂道』（NHK）、映画『BACK STREET GIRLS-ゴクドルズ-』、4月13日～KAAT神奈川芸術劇場プロデュース 舞台『春のめざめ』（演出 白井晃）ヒロインヴェントラ役での出演が決まっている。

■岡本さんコメント

初めての就活生役に挑戦しましたが、作りすぎずナチュラルに、20歳の自分そのままを出せるように演じました。わたしのリクルートスーツ姿は、意外といいんじゃないかなって思うのですが……どう、ですか？（笑）

清川進也プロフィール



■清川進也（キヨカワシンヤ）

「拡張音楽」をコンセプトに、視聴情報の中に存在する音楽の創造や、音楽の新たな機能性を追求するサウンドアーティスト。環境音を楽曲として再構築する音楽技法（サンプリング）を得意とし、自ら映像撮影と録音を同時に行いながら収録した環境音素材による映像／音楽作品を多数発表。広告作品を中心に、形にとらわれない様々な音楽表現を行っている。代表作の「森の木琴」は2012年カンヌ国際広告祭で金賞を受賞。

■清川さんコメント

聞き手によって捉え方は様々であってほしいですが、この音楽を聞いて「がんばろう！」という気持ちになってもらえたらと思っています。就職活動は大変なことも多いですが、いま、自分のやっていることは間違いじゃないよ、という気付きの一助になるとうれしいです。

戸田建設グループ CIロゴマーク刷新



戸田建設グループは、このたび「Orchestrating Innovation」をデザインコンセプトとしたCIロゴマークの刷新を行いました。

Orchestrating Innovation

「戸」という文字を、個性やアイデアの集合体をイメージした多様な図形により形成することでオリジナリティを高めるとともに、日本発のグローバル企業に向け、クオリティやホスピタリティなどの感性価値を大切にするという意思を込めたロゴとなっています。